

建設工事請負契約に係る最低制限価格の算出例

【参考例】工事

※1円未満は切り捨て

直接工事費	15,423,500 円	⇒ *9.7/10	= (A)	14,960,795 円
共通仮設費	1,464,300 円	⇒ *9.0/10	= (B)	1,317,870 円
現場管理費	5,537,700 円	⇒ *9.0/10	= (C)	4,983,930 円
一般管理費	4,257,750 円	⇒ *6.8/10	= (D)	2,895,270 円
	26,683,250 円	Σ (A~D)	= (K)	24,157,865 円
工事価格	26,683,250 円			
消費税相当額	2,668,325 円			
設計額=予定価格	29,351,575 円			

千円未満切上げ

K	設計書からの計算値		24,157,865
①	最低制限価格基礎額 算出結果	K * 1.10 (端数丸め対象額) (少数以下切り捨て)	26,573,651
②	最低制限価格	(①を千円未満切上げ)	26,574,000
③	最低制限価格の100/110	② * 100/110 (少数以下切上げ)	24,158,182

※③は、②により端数処理した後の額に110分の100を乗じて得た額(少数以下切上げ)であることに留意すること。

※最低制限価格が予定価格の7.5~9.2/10の範囲内にあることの確認

$$\begin{array}{ccc}
 \text{(予定価格の7.5/10)} & & \text{(予定価格の9.2/10)} \\
 22,014,000 & \leq & \underline{26,574,000} \leq 27,004,000
 \end{array}$$

※予定価格調書(契約規則第11条関係様式第2号)に記載する最低制限価格の割合

$$\text{②} \div \text{予定価格} = 0.905368792 \Rightarrow \mathbf{90\%}$$

※小数点以下切り捨て